

2019

2月号

## つなぐ

ボランティア 私の場合  
volunteer interview朗読で社会との  
つながり作りをサポート朗読ボランティアはまゆう  
代表 林 恵美子さん

私たちはパソコンやスマートフォン、新聞や書籍などから毎日多くの情報を得ることができますが、文字を通しての情報のため、視覚に障がいのある方はその情報を得ることができません。林さんはそういった方々に文字の情報を音声にして届ける活動をされています。その活動の中でも中心となるのが月2回の「広報うらやす」発行に伴う「声の広報」作りです。

## 朗読ボランティアを始めたきっかけを聞かせて下さい

子育ても一段落した30代半ばに社会参加の意味から視覚障がい者向けの、電話での新聞朗読サービスに関わりました。転勤が多かったので地域に馴染むためということもあり、それぞれの場所で視覚障がい者のための朗読ボランティアに参加しました。浦安では図書館の朗読協力員と「はまゆう」で活動しています。

## 活動で大切にしていることは何でしょうか

聞き手の気持ちを考えることを心がけています。視覚障がいは孤独感、疎外感を他の障がいよりも感じやすいと思います。自宅から出るのも勇気がいらします。そして、一歩踏み出してみようとした時、欲しいのが情報です。その情報を伝えるのが私たちの活動です。利用者の方は「声の広報」を聞き込み、周囲の誰よりも市の情報に詳しくなって、近所の人に教えてあげるそうです。それが話題のきっかけ、社会とのつながり作りになります。

## 何かエピソードがあれば教えてください

視覚障がいの方が小学校に障がいについての話をしたら「お礼の文集が届いた。嬉しいけれど文字なんだよね」と朗読（音訳）の依頼を受けたりもします。気軽に頼んでもらえるのも日ごろの信頼関係があってのことだと思っています。「ありがとう。助かっているよ」という言葉がフィードバックされて私たちの力になっています。



## 子どもたちのワクワクを応援

こどもがつくるまち  
@うらやす実行委員会  
代表 近藤 祐介さん

「こどもがつくるまち@うらやす」とは仮想のまちの中で子どもたちが市長や警察署長、店長となり、まちのルールをつくり、お仕事をし、お給料をもらい、買い物をするというまちづくり体験プログラムです。子どもたちはまちの運営を通じて、社会の仕組みや社会への参加について学びます。近藤さんはこのイベントを企画・運営し、主役の子どもたちをサポートされています。

## 活動を始めたきっかけを聞かせて下さい

中央公民館の「こども起業塾」や「百縁商店街」等に関わっていたこともあり、友人に誘われて参加しました。教員を志望していた時期もあったので、子どもと一緒に遊んだり、勉強することが好きでした。だから、子どもたちがワクワクしながらイベントの準備を進めている姿を見ると嬉しいですし、子どもたちがアイデアや意見を出してくれると、「頼もしいなあ」といつも感心させられ、この活動を支えるために、自分も頑張ろうと思います。

## 子どもたちと接する上で気を付けていることは何でしょうか

まずはしっかり話を聞くことです。また、話をする時は子どもと目線の高さを合わせ、子ども扱いせず、大人と同じ対応をするように心がけています。例えば出てくれた意見の実現が難しい時などは、その理由をしっかりと説明しています。そうするとちゃんと理解してくれます。

## 何かエピソードがあれば教えてください

イベント開催前、告知のための記者会見をした時に、事前に打ち合わせなどしていなかったのですが、「なぜこのイベントを実施するのか」という本質的なことを子どもが自発的に話していたんです。大人が考えている以上に、子どもが真剣に考えてくれていたのが嬉しかったです。



# ボランティアの明日を考える

## 地域貢献の先にあるもの

約1年半後に東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、大震災以来、再び脚光を浴びているボランティア。千葉県を訪れる多くの方々に交通案内や観光案内等の「おもてなし」を行う都市ボランティアでは、浦安市内エリアの定員150名に対し、520名を超える応募がありました。

しかし、市内で活動している団体の中には、高齢化等の理由により、人手が足りていない団体も少なくありません。

### 「浦安らしい」ボランティアとはー。

12月17日(月)市庁舎にて開かれたのは、市民活動団体の代表らによる座談会。ファシリテーターの影山さんの進行のもと、ボランティアに対する想いや、今後の「浦安らしい」ボランティアについて語り合いました。

#### 参加者 Discussion about volunteers



●「浦安水辺の会」  
ー 事務局 横山清美さん

2004年設立／市民が水辺に関心を持ってふるさと浦安の川や海を大切にすることを意識を育むための活動を行っている。



●「(特非)たすけあい はとぼっぼ」  
ー 代表 内田香さん

1989年設立／「助ける人も助けられる人も皆、同じ会員、対等な関係」という考えのもと、地域で家事支援などの「たすけあい」活動を行っている。



●「Prism!プリズム」  
ー 代表 田頭あやかさん

2009年設立／妻や母という役割を越えて誰もが自分らしくいられるまちをめざし、子育て中の女性が地域で活躍するための支援を行っている。



●ファシリテーター  
ー 影山貴大さん

千葉県内3市の市民活動支援センターでコーディネーターとして活躍中



●浦安市役所 協働推進課  
ー 佐々木嘉之さん

### ■ 「地域の人々と繋がりたい」という気持ち

**影山:** ボランティアを始めるきっかけは何だったのでしょうか。

**横山:** 40年前ぐらいの話になりますね。浦安が市になった時に住み始めましたが、地域のことは知らないことばかり。もっと知りたい!という思いからです。

**内田:** 自分の居場所探しですね。内気な性格だった学生時代、通っていた女子校では同じことに興味がある人どうしが集まっている感じがありましたが、色々な価値観の人がつながる場所が欲しいと思っていました。はとぼっぼのメンバーには様々なタイプの人があるので居心地がいいです。

**田頭:** 私は出産後の専業主婦時代に地域に目が向き、地域と繋がりたいと思うようになりました。独身時代はビジネス思考。地域貢献という意味合いでのボランティアは、責任が曖昧になると考えていたので、

あまり馴染めませんでした。今の活動を始めたきっかけは、自分たちの目指す活動が地域に無かったからそれならば作ればいいかなと…。自分の思いと地域性を掛け合わせた結果です。

**横山:** 私の場合は、子どもたちと一緒に環境について考える中で、ボランティア活動と出会いました。だから、ボランティアを始めよう!と思って活動したわけではなく、結果的に地域に貢献した活動になっていた、ということでしょうか。子どもたちの気付きのサポートができることが嬉しいですね。

皆さんに共通していたのは、「地域貢献」という認識より、「地域の人々ともっと繋がりたい」という純粋な想いでした。では、10年以上にわたり活動を続けている原動力は、一体どこにあるのでしょうか。

## ■ 「ボランティア」に求めるもの

**影山:** 私はボランティアもビジネスも根幹は同じだと思っています。「ビジネス」は、お金を媒介して提供するものと望むものを交換するものですよね。では「ボランティア」では、お金ではなく何が流れていると思いますか。

**佐々木:** 感謝されたいという気持ち、仲間づくりなど、ボランティアに求めることは、それぞれ異なると思いますので、ボランティアや市民活動を推進していく立場としては、アプローチの仕方が難しいなと感じています。

**内田:** 私は、利用者さんから感謝の言葉をいただけることかなと思います。中でも印象的だったのは、利用者さんからの「あなたが来てくれることを待っていたわ」という言葉でしたね。

**田頭:** 私はボランティアに対する期待は、様々だと思いますよ。実際にやってみて分かることがたくさんあると思います。私は、ボランティアのイメージを学生時代の文化祭だと考えています。準備期間を通じて、意外な

人と仲良くなれるような感覚。ボランティアを実際に行うことで、結果的に何かが残るのではないのかしら。

**横山:** 環境活動は福祉活動などとは違って、活動で「ありがとう」と言ってもらうことはありません。なので「ありがとう」と言ってもらうためという感じでもないですし、目的や課題解決のためという気持ちです。



何かを求めてボランティアをするのではなく、始めてみたら結果的に期待以上のものが得られると語る皆さん。お互いの想いに共感し、大きく頷く姿が印象的でした。

## ■ 今後の「浦安らしい」ボランティア

**影山:** 今後、浦安でのボランティアをより活発なものにするためのアイデアはありますか。

**田頭:** 若い世代も、PTAや自治会役員などの地域活動をしている人は多いですね。大変そうというイメージをなくすには、当事者が無理せず、できる範囲で関わることで、そして何よりも楽しむことが重要ですね。

**内田:** 今は団体ごとに活動していますが、団体が横のつながりをつくって連携して活動していけるといいなと思います。

**横山:** 他の団体とつながれたらいいと思っていても一歩が踏み出せない感じがあると思います。地域やボランティアに興味がある人はたくさんいると思うのでボランティアに参加するためのきっかけづくりの場や、ボランティア経験者が集える場があると良いと思います。

**佐々木:** 都市ボランティアの募集状況を見てみると、活動へ参加しやすくするためには、「期間限定」ものであることや、活動の魅力がしっかりと伝わるのがポイントかもしれませんね。

**横山:** 浦安市は地理的にもコンパクトだから、市民活動団体同士の横の連携もしやすいですね。この都市ボランティアをきっかけに、ボランティア参加への機運が高まると良いですね。そのためにはオリンピック後に参加者で集まって振り返りをする時間があるといいかもしれませんね。それぞれの経験や気づきが共有できる機会をつくるといいと思います。

**田頭:** 振り返りをするすることで、これからの市民活動の担い手につながりそうですね。

**影山:** 本日は貴重なお話をありがとうございました。この座談会の場も、団体さん同士を繋げる場にもなったと思い、大変嬉しく思います。



Think of the volunteer's tomorrow



「しろくまキッズ」は“子どもエコクラブ”に登録している、環境活動クラブ。現在8歳～12歳の12人が楽しみながら環境について学んでいます。これまでに行ったプログラムは「ソーラークッキング」「紙すき」など。活動での気づきは活動レポートや壁新聞などを通じて発信しています。「最初は参加する側だった子どもが活動するうちに、自分たちで工夫し、新しい参加者を迎える側に成長していきます。また、子どもを通じて家族も環境活動に興味を持ってくれるようになり、活動に広がりが出ました」と団体

の代表で世話人でもある広田由紀江さん。楽しい活動のシンボルは広田さん手作りの白くまの帽子。全員でかぶって活動します。

より多くの子どもたちに、様々な環境学習の機会を提供したいと平成31年度の浦安市市民活動補助金にもエントリー中。こういった活動に参加する子どもが増えたと、地球環境の未来は明るい! そんな気持ちになりますね。



## 団体応援講座

### NPOと“おカネ”の話 ～知ってトクする資金調達～

団体の安定的な活動に欠かせない資金調達。その基本から寄付の色々な方法についても学びます。ぜひご参加ください。

- **日時** 3月17日(日) 13:00～16:00
- **場所** 市庁舎10階 協働会議室
- **講師** 徳永 洋子氏 (ファンドレイジング・ラボ代表)
- **定員** 30名 (先着順)
- **対象** 市民活動団体
- **参加費** 無料
- **申込** 市民活動センターまで、電話、FAX、Eメールにてお申し込みください。

## うらやすNPOウィーク2019

### ～市民活動に出会う日～ 開催します!

様々な市民活動を紹介・体験する「うらやすNPOウィーク」。今年は展示15団体、ワークショップ10団体が参加します。ぜひ、お出かけください。

- **日時** 2月17日(日)～2月24日(日)まで  
※23日(土)は休館 市役所開庁時間内
- **場所** 市民活動センター 市民ホール(市庁舎1階)
- ※ 詳細についてはセンターホームページをご覧ください。

## うらやす市民大学からのお知らせ

### 今年も4月1日から受講生を募集します!

うらやす市民大学は、市民自らが地域に貢献する「協働」の担い手として活躍していただくための学びの場です。

- **募集期間** 4月1日(月)～4月26日(金)
- **開設講座** 開設する講座の詳細は、広報うらやす3月15日号で発表予定です。また、募集案内の配布についても同時にお知らせいたします。

## うらやす市民大学特別公開授業

市民大学を知らない方、今後受講を考えている・迷っている方、どなたでも無料で受講できる公開授業を実施します。

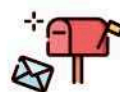
- **日時** 3月2日(土) 13:30～16:30
- **場所** まちづくり活動プラザ3階 うらやす市民大学講義室1 (浦安市入船5-45-1 ※旧入船北小学校跡地)
- **申込み等** 2月15日(金)8:30から先着順にて受付開始(定員100名)  
※詳細については、うらやす市民大学ホームページをご覧ください。

問い合わせ

浦安市市民大学校 TEL: 047-351-4811

## 編集後記

- 市民活動センターを入ってすぐのラックに市民活動団体のイベント情報やボランティア募集情報、団体情報、会報誌などを置いています。センターに来館される方の多くがここに立ち寄り、ここからボランティアの参加につながることも。
- 「うらやす NPO ウィーク 2019」でも市民ホールにコーナーを設け、市民の皆さんのボランティア相談を受け付けています。
- ぜひお立ち寄りください。



問い合わせ・申込みは  
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター  
2019年2月10日

〒279-8501 千葉県浦安市猫実1-1-1 (市庁舎1階)  
TEL: 047-305-1721 / FAX: 047-305-1722  
E-mail: shiminkc@jcom.home.ne.jp  
URL: http://u-shimin.genki365.net